

東北地方 1か月予報

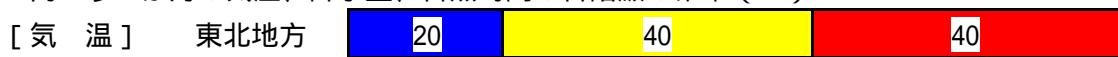
(8月30日から9月29日までの天候見通し)

平成15年8月29日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

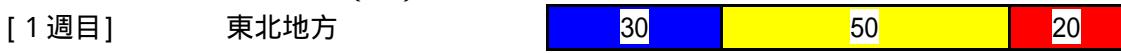
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われ晴れて残暑となる時期があるでしょう。
向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量と日照時間は平年並でしょう。
週別の気温は、1週目は平年並、2週目と3~4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月30日(土) ~ 9月29日(月)
1週目 : 8月30日(土) ~ 9月5日(金)
2週目 : 9月6日(土) ~ 9月12日(金)
3~4週目 : 9月13日(土) ~ 9月26日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月5日
3か月予報:9月25日(木) 14時00分
寒候期予報:9月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	19.5	237.4	125.2	21.6	20.4	18.6
新庄	19.4	164.1	120.3	21.9	20.4	18.2
若松	20.3	140.0	134.7	23.0	21.4	19.1
深浦	19.3	182.2	162.0	21.5	20.2	18.4
青森	19.1	128.6	166.7	21.4	20.1	18.1
むつ	18.2	183.0	148.6	20.2	19.1	17.3
八戸	18.8	177.2	148.8	20.8	19.7	17.9
秋田	20.2	188.7	163.2	22.6	21.2	19.1
盛岡	18.6	172.5	129.5	21.1	19.6	17.5
宮古	18.8	240.0	128.9	20.8	19.6	17.9
酒田	20.8	196.5	158.0	23.1	21.7	19.7
山形	20.1	146.5	134.5	22.7	21.1	18.9
仙台	20.6	226.4	125.1	22.7	21.4	19.6
石巻	20.1	172.1	139.2	22.2	21.0	19.2
福島	21.1	177.0	120.0	23.5	22.0	19.9
白河	19.4	233.3	117.9	21.8	20.4	18.2
小名浜	21.5	211.4	144.6	23.3	22.3	20.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.3	85~113	95~108
東北日本海側	-0.6~+0.4	86~110	96~108
東北太平洋側	-0.5~+0.3	85~115	92~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.7	-0.7~+0.6	-0.5~+0.3
東北日本海側	-0.8~+0.8	-0.8~+0.6	-0.5~+0.3
東北太平洋側	-0.7~+0.8	-0.6~+0.6	-0.5~+0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年8月29日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月30日~9月29日) :

天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われ晴れて残暑となる時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(8月30日~9月5日) :

明後日(31日)から1日にかけては気圧の谷や前線の影響で天気のくずれる所が多いでしょう。その他の日は、東北北部では高気圧に覆われて概ね晴れます、東北南部は前線の影響で曇る日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(9月6日~9月12日) :

天気は数日の周期で変わるものでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(9月13日~9月26日) :

天気は数日の周期で変わりますが、前線や気圧の谷の影響で天気のぐずつく時期があるでしょう。

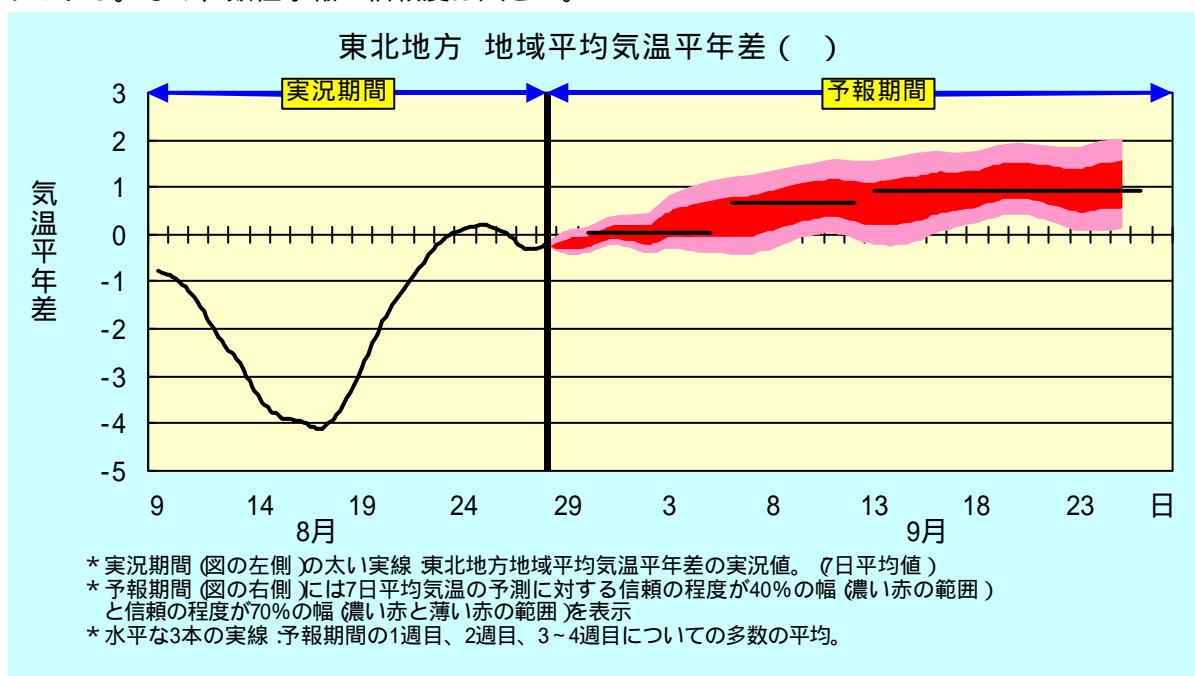
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.6日	3.8日	3.1日	6.7日
東北太平洋側	12.1日	3.2日	2.6日	6.3日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「平年並」、2週目と3~4週目は「高い」と予測している。予報は、その他の資料から2週目と3~4週目を「平年並か高い」に変更する他は数値予報通りとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

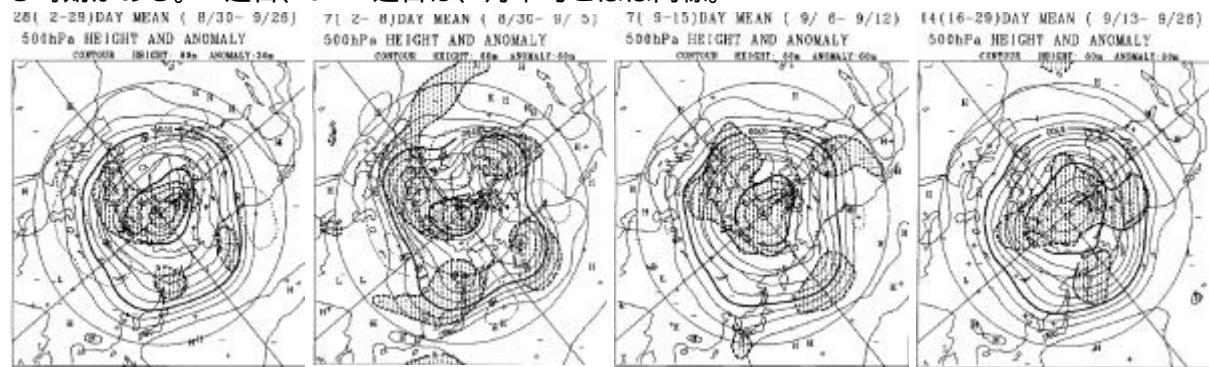


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、偏西風の流れは東西流が卓越しており、天気は数日の周期で変わる見込み。日本付近は広く正偏差に覆われ、負偏差はオホーツク海付近の狭い領域のみ。日本の南東海上の太平洋高気圧は平年より強い予想。

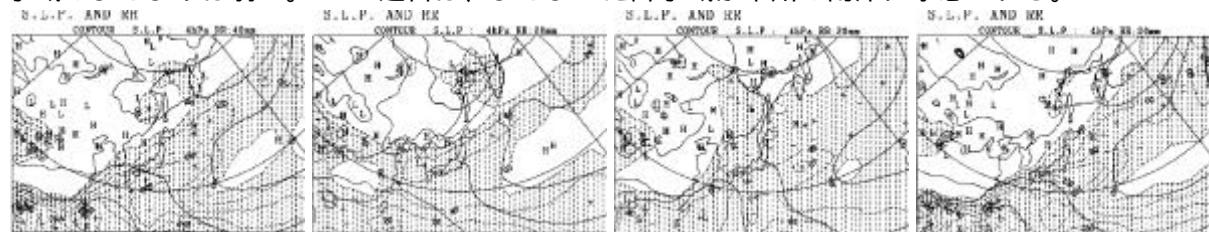
週別に見ると、1週目は負偏差域がカムチャツカ半島から北日本に広がり、前線の影響を受ける時期がある。2週目、3~4週目は、月平均とほぼ同様。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は数日の周期で変わる見込み。日本付近には降水域が広がるが、まとまった降水域は南岸が中心。

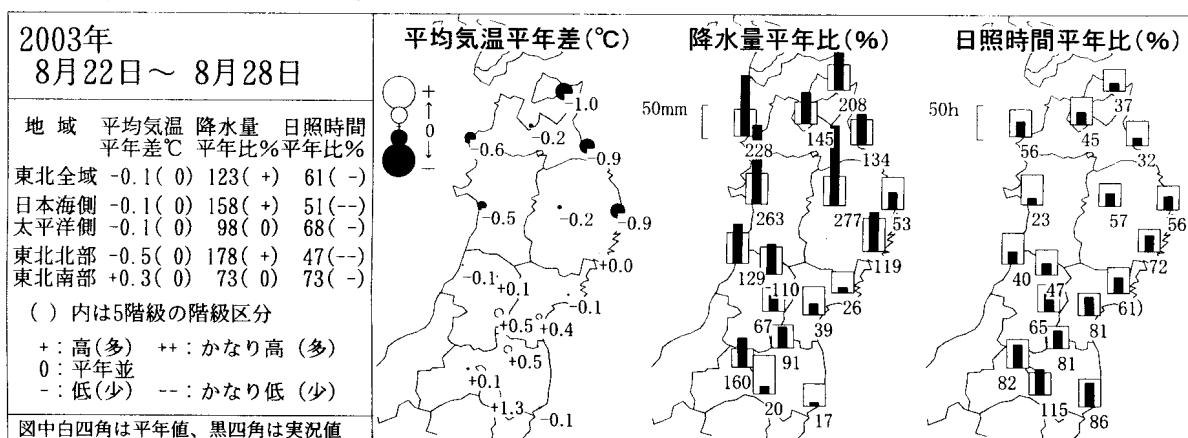
週別に見ると、1週目は降水域が日本付近に広がる。2週目は高気圧が広く北日本まで覆い、降水域のまとまりは弱い。3~4週目は、まとまった降水域が本州の南岸に予想される。



4. 最近1週間（8月22日～8月28日）の天候の経過

この期間、前線や低気圧の影響で東北北部を中心に曇りや雨の日が多かった。22日から23日は高気圧に覆われ晴れて気温が高くなった。25日には大気の状態が不安定となって岩手県では竜巻による被害が発生した。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)